

カタリナ

学報 ━━━━━ 第21号

St. Catherine University

聖カタリナ大学 / 聖カタリナ大学短期大学部

2008. 12. 1

大学と環境問題

学校法人聖カタリナ学園理事長 中田 婦美子



今夏、洞爺湖サミットにおいて世界主要8カ国が地球温暖化について話し合ったが、2050年までの二酸化炭素CO₂の50パーセント削減合意が容易に得られなかつたのは、もはや先進国だけではこのような地球規模の問題は解決することが困難な時代に来ていることを感じている。産業革命以来人類は、自国の繁栄と利益のために奔走し、やがてあらゆる科学技術革新の競合となり、今や核の問題は地球上に大きな緊張と脅威をもたらしている。地球が太陽系で唯一生命体を維持できる惑星であり、その生態系はきわめて脆弱で、有限性のあるものであることが知られるようになって久しい。

すでに1990年モスクワで開かれた民間の「人類の生存のための地球環境開発フォーラム」において、地球環境が危機に瀕しているという認識のもとで、軍事安保に注入しているエネルギーをより切実な「地球生き残りのための環境保全」の実現のために振り向けることが宣言されたが、約18年経過して地球環境はますます悪化の一途をたどっている。

聖書によって、私たちは地球とそこにあるすべての資源は神から人類へ共有の賜物として与えられたことを知っている。1965年カトリック教会が開催した公会議は、真の人類の進歩と発

展とは何かを神の設計における歴史的観点から検証し、教会はその時代の必要に応えるために刷新と適応に取り組むことを16の憲章、教令、宣言として発表した。その中の一つ「現代世界憲章」はこの地球に生きる人類の連帯と和解を特に強調している重要な文書である。

「神は地とそこに含まれるあらゆるものすべての人と民族の使用に決定したのであるから、極度の窮迫においては、すべてのものは共有すべきである。すなわち、それは分かち合うという昔からの原則である」（現代世界憲章No.69）と訴えている。国連推計では2050年の世界人口は92億になるといわれている。全世界の収入の約5分の4は先進国が所得し、5分の1が発展途上国の所有に過ぎないという現状である。地球の共有財産である富の不公正な獲得によって極端な貧富の格差を生み出していることを認識しなければならない。

今年10月10日の「世界食料デー」にローマの教皇ベネディクト16世は世界で発生している食糧危機に対して飢餓の原因の一つは、先進国における営利主義的な富の占有により、食料不足にもかかわらず過剰な物質への消費競争が加熱し、貧困国では飢餓状態に追い込まれているとのべている。他の原因は国際的不調により先

進国にみられる見境いのない投機を抑止出来ないことがある。創造による資源の共有と、もたらされた利益の公正な分配を目指すべきであると強調した。現代文化を支配している誤った価値観から、気候変動やバイオ燃料についての科学的研究開発を優先するよりも人間性の本質と最も深い内面にある望みを配慮することこそが緊急であると指摘している。

したがって、カトリック大学として本学の学生達と教職員が真に世界的な連帯感と責任ある現実的認識をもつ時代に来ている。実は、1992年ブラジル・リオでの地球サミットで当時12歳のセヴァン・カリス・スズキさん(カナダ在住の日系4世)がその会議に出席し、環境問題について各国の代表者の前で「伝説のスピーチ」を行ったことで有名である。後に彼女はイエール大学卒業後その仲間たちと「責任の認識」ROR (recognition of responsibility) のNGOの活動を立ち上げ、2002年にはアフリカ・ヨハネスブルグの環境サミットでも、国連の諮問委員会の最年少メンバーとして参加した。日本のNGOに対してもこの「責任の認識」活動の3つのルールを説明している。第1に、ある行動には必ず結果が伴うということを認識すること。第2に、行動によって生まれる結果にどう責任を持つかということ。第3に、相互の約束によって実行し、現実に模範を示すこと。これが彼女の提唱する環境問題の解決への3つのプロセスで、世界を変える力は、地域と市民の中にあるとしている。

世界で今8億5千万人の人々が飢餓に苦しみ、更に食料危機によって1億人は増加するだろうと言われている。本学のボランティアセンターでも学生達は地域社会の清掃や福祉のために活動し、又他の学生達も自主的に世界的飢餓の問題に关心を持っている。「TABLE FOR TWO」(二人で食卓を)のプロジェクトは食料危機対策として学生達自身が呼びかけたもので、発展途上国の子供達の給食のために、20円献金運動として、現在本学の学生食堂で実施されている。

本学がささやかながらこれまで取り組んできた環境対策として、毎年行われる夏期休暇中の一定期間、学内一斉休暇によって省エネ対策の



学生食堂で行われた「TABLE FOR TWO」プロジェクト。先進国に住む人々は肥満や生活習慣病予防のためランチのカロリーを抑え、その分を発展途上国の子どもたちに給食として届けようという運動です。

一環として高熱水費が一週間で約450,000円節減されたことが会計課から報告された。現在地下水飲料化システムについて検討中であり、将来の可能性としてソーラーパネルによる太陽光発電システムなどについて、経費の問題もあるが今後慎重に検討していきたい。特に学内において無駄な電気、空調の使用、日常の事務用紙の大量消費、空き缶等の扱いについて全学的に考えたらどうだろうか。本学のように教職員と学生を合わせて約1,200名を擁する規模の教育施設が、地球における資源の共有化、環境保護のために具体的な行動をおこし、「責任の認識」を範をもって示したいものである。

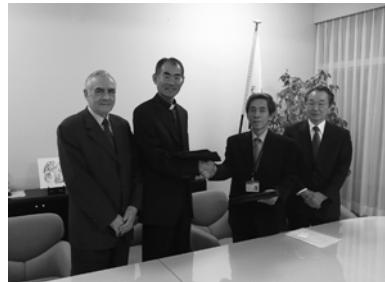
本学の保護者シエナの聖カタリナは神のことばとして「対話」の中で、次のように記している。「世の富を所有するときは、これを謙虚に所有すべきで傲慢に所有すべきではない。借りたものとして所有すべきで自分のものとして所有すべきではない。あなた方はわたしがこれを与える程度に応じて所有する。あなた方はわたしがこれを残す程度に応じて保存する。わたしはそれがあなた方の救いに役立つと判断する程度に応じてこれを残しこれを与える」(47章)。現代は14世紀に彼女が残した預言的警告を果たして時代錯誤といえるだろうか。



●聖トマス大学と連携協力協定を締結

聖カタリナ大学短期大学部は、本学と同じ聖トマス・アクリナス大学国際協議会(IC-USTA)の加盟校である聖トマス大学(兵庫県尼崎市)と、11月5日(木)に連携協力協定を結びました。この協定により、保育学科の卒業生が聖トマス大学へ第3年次編入学することにより、小学校教諭一種免許状および幼稚園教諭一種免許状を取得することが可能になりました。

保育学科において基準を満たす成績を収めた学生は、推薦により聖トマス大学の特別編入学試験を受験することができます。この制度での合格者は聖トマス大学の入学金が全額免除になります。さらに特に優秀な学生には、聖トマス大学での3年次での授業料が全額免除になる制度も創設されました。この特別編入学推薦制度は2009年8月からの実施を予定しています。



●聖カタリナ大学教育懇談会

聖カタリナ大学では、11月15日(土)に学生保護者の方々を大学に招き、平成20年度教育懇談会を開催しました。

学長、理事長挨拶の後、授業や学生生活、就職活動、国家試験対策など、本学の取り組みについて説明を行いました。その後の懇談会では、保護者の方々からたくさんの貴重なご意見をいただきました。懇談会の閉会後には、希望する方には教員との個別面談の場が設けられました。

●人間文化研究所公開講座

「竹内孝仁が語る新しい介護福祉文化論」

人間文化研究所では、平成20年度公開講座として、国際医療福祉大学大学院教授の竹内孝仁(たけうちたかひと)先生に講演をお願いしました。

11月29日(土)、本学2号館大講義室に一般参加者約250名が詰めかける中、お年寄りの寝たきりを防ぐ方策や、介護予防の取り組みなどを中心にお話していただきました。



●介護福祉専攻ディサービス「コンビベンシア」

介護福祉専攻では、学生によるディサービス「コンビベンシア」(共に生きるという意味)を、10月31日(金)に行いました。

今年2回目の開催となる今回は、本学の敷地内にある特別養護老人ホーム「聖マルチンの家」利用者の皆さんをお招きし、ハロウィンパーティーを行いました。お菓子を召し上がっていただいたり、魚釣りやボーリングなどのゲームで楽しんでいただきました。

◆◇ 平成 20 年度前期行事 (H20. 4. 1 ~ H20. 9. 30) ◇◆

| 月 | 日 | 曜 | 区 | 行 事 |
|----|----|-----------------------|-----------------------------|---------------------------------------|
| 4 | 1 | 火 | 前学期開始、辞令交付、研究紀要委員会 | |
| | | | 教授会、選考教授会 | |
| | | | 教授会、人事委員会 | |
| 2 | 水 | | 入試・募集委員会 | |
| 3 | 木 | | 入学式 | |
| 4 | 金 | オリエンテーション (~4/8) | | |
| | | 教職課程委員会 | | |
| 7 | 月 | | 会計監査 (~4/8) | |
| 8 | 火 | キリスト教研究所所員会 | | |
| | | 健康栄養学科カタリナキャンプ (~4/9) | | |
| 9 | 水 | | 前学期授業開始、 ボランティアセンター運営委員会 | |
| 10 | 木 | | 就職委員会 | |
| 11 | 金 | 国際交流委員会 | | |
| | | 教授会、教務委員会 | | |
| 12 | 土 | 短 | 保育学科カタリナキャンプ | |
| 16 | 水 | 短 | 入試・募集委員会部会 | |
| 18 | 金 | 大 | 生涯学習推進委員会 | |
| | | 短 | 保育学科会議、健康栄養学科会議 | |
| 19 | 土 | 大 | 人間健康福祉学部カタリナキャンプ (~4/20) | |
| 21 | 月 | 大 | 学生寮運営委員会 | |
| | | 入試・募集委員会 | | |
| 23 | 水 | | 教職員健康診断 | |
| 24 | 木 | | 留学生委員会 | |
| 25 | 金 | 大 | 大学学科会議 | |
| 26 | 土 | | 職員互助会歓迎会 | |
| 28 | 月 | | 障害学生支援委員会 | |
| 29 | 火 | | 学園創立記念日 | |
| 30 | 水 | | 図書委員会、学生相談室委員会 | |
| 5 | 2 | 金 | 短 | 教授会 |
| | | | | 会計監査 (~5/9) |
| | 8 | 木 | 大 | F D 委員会 |
| | | | 大 | 広報委員会 |
| | 9 | 金 | 教授会 | |
| | | | 短 | 大学評価委員会、健康栄養学科会議 |
| | 14 | 水 | 母をたたえる日 | |
| | | | 大 | 研究紀要編集委員会、大学評価委員会、 ボランティアセンター運営委員会 |
| | 16 | 金 | 大 | まつやまシニアカレッジ |
| | | | 大 | 社会福祉士国家試験対策講座 |
| | 17 | 土 | 大 | 社会福祉士国家試験対策講座 |
| | 18 | 日 | 大 | 社会福祉士国家試験対策講座 |
| | 19 | 月 | 大 | 星川奨学生選考面接 |
| 31 | 22 | 木 | 大 | サークルオーブンセレモニー |
| | | | 大 | 人間文化研究所所員会 |
| | 23 | 金 | 高校教員対象大学説明会 (本学) | |
| | | | 短 | 日本学生支援機構奨学生選考面接 |
| | 25 | 日 | 大 | 社会福祉士国家試験対策講座 |
| | | | 大 | 高校教員対象大学説明会 (新居浜) |
| | 26 | 月 | 大 | 高校教員対象大学説明会 (高知) 、 メンタルヘルス相談 |
| | | | 大 | 高校教員対象大学説明会 (宇和島) |
| | 29 | 木 | 大 | 教務委員会 |
| | | | 大 | 高校教員対象大学説明会 (中村) |
| | 30 | 金 | 大 | ボランティアセンター運営委員会 |
| | | | 大 | 人事委員会、まつやまシニアカレッジ |
| | 31 | 土 | 大 | 介護福祉実習報告会、 社会福祉士国家試験対策講座 |

| 月 | 日 | 曜 | 区 | 行 事 |
|----|----|-------------|----------------------------------|-------------------------------|
| 6 | 2 | 月 | 大 | 教育実習 [社4・経4] (~6/14) |
| | | | 短 | 幼稚園教育実習 [保2] (~6/13) |
| 4 | 水 | 金 | 北条高校1年生大学訪問 | |
| | | | 大 | 日本学生支援機構奨学生選考面接 |
| 6 | 9 | 月 | 短 | 教授会 |
| | | | 大 | インターンシップ [経2] (~6/14) |
| 11 | 水 | 金 | 短 | 給食実務論実習 [健2] (~6/14) |
| | | | 大 | 教務委員会 |
| 12 | 木 | 北条高校2年生大学訪問 | | |
| | | | 大 | ボランティアセンター運営委員会 |
| 13 | 金 | 大 | 教授会、入試・募集委員会部会、 まつやまシニアカレッジ | |
| | | | 短 | 保育学科会議 |
| 14 | 土 | 後援会役員会 | | |
| | | | 大 | 社会福祉士国家試験対策講座 |
| 16 | 月 | 大 | 精神保健福祉援助実習 [社4] (~7/8) | |
| | | | 短 | 入試・募集委員会 |
| 18 | 水 | 大 | ボランティアセンター運営委員会、 人間文化研究所フォーラム | |
| | | | 金 | カタリナ奨学生1種選考面接 |
| 20 | 金 | 大 | 実習・演習担当者会 | |
| | | | 大 | 社会福祉士国家試験対策講座 |
| 21 | 土 | 大 | オーブンキャンパス (第1回) | |
| | | | 金 | カタリナ奨学生1種選考面接 |
| 22 | 日 | 大 | 人事委員会、まつやまシニアカレッジ | |
| | | | 土 | 四国インカレ (~7/6) |
| 23 | 月 | 大 | ボランティアアイワーク (~7/5) | |
| | | | 金 | ボランティア清掃 |
| 7 | 2 | 水 | 大 | まつやまシニアカレッジ |
| | | | 金 | 教授会 |
| 5 | 4 | 木 | 大 | ボランティアアイワークチャリティーバザー |
| | | | 金 | 社会福祉士国家試験対策講座 |
| 6 | 6 | 月 | 大 | スポーツ奨学生検討委員会 |
| | | | 火 | 国際交流委員会 |
| 8 | 8 | 火 | 大 | 社会福祉援助技術現場実習連絡会 |
| | | | 木 | 奨学生選考委員会 |
| 10 | 10 | 金 | 大 | 教授会、教職課程委員会、 社会福祉士国家試験対策講座 |
| | | | 金 | 短 保育学科会議 |



高校教員対象大学説明会 [5/23(金)]

| 月 | 日 | 曜 | 区 | 行 事 |
|---|----|---|---|--|
| 7 | 12 | 土 | 大 | 介護技術講習、社会福祉士国家試験対策講座 |
| | 13 | 日 | 大 | 介護技術講習、社会福祉士国家試験対策講座、社会福祉士国家試験対策学内講座 |
| | 15 | 火 | | ボランティアセンター運営委員会 |
| | 18 | 金 | | 学生寮運営委員会 |
| | | | 大 | 社会福祉士国家試験対策講座、まつやまシニアカレッジ |
| | 19 | 土 | 大 | AO面談（第1回）、社会福祉士国家試験対策講座、介護技術講習 |
| | 20 | 日 | 大 | 社会福祉士国家試験対策講座、介護技術講習 |
| | 21 | 月 | 大 | 社会福祉士全国統一模試 |
| | 22 | 火 | | 韓国又松大学生訪問（～7/23）、メンタルヘルス相談 |
| | | 短 | | 保育実習II（保育所）・III（施設）【保2】（～8/2） |
| | 23 | 水 | | 人間文化研究所フォーラム |
| | 24 | 木 | | グループウェアソフト打合せ |
| | | 大 | | 前学期授業終了 |
| | 25 | 金 | 大 | 前学期試験開始 |
| | 30 | 水 | | 学生相談室委員会、図書委員会 |
| | 31 | 木 | 大 | 前学期終了 |
| | | 短 | | 前学期授業終了 |
| 8 | 1 | 金 | | 夏季休業（～9/24） |
| | 2 | 土 | 短 | AO面談（第1回） |
| | 3 | 日 | | オープンキャンパス（第2回） |
| | 4 | 月 | 短 | 入試・募集委員会部会 |
| | 5 | 火 | | 奨学生選考委員会、人間文化研究所所員会 |
| | | 大 | | 教授会、選考教授会 |
| | 6 | 水 | 大 | 精神保健福祉援助実習【社4】（～9/4）、介護福祉実習【介2】（～8/26） |
| | | 短 | | 教授会 |
| | 7 | 木 | | H20愛媛県保育士試験筆記試験（～8/8） |
| | | 短 | | 栄養士養成施設指導調査 |
| | 8 | 金 | | 聖ドミニコの日 |
| | 11 | 月 | 大 | 社会福援助技術現場実習【社3・介4】（～9/10） |
| | 20 | 水 | 大 | 介護技術講習 |
| | 21 | 木 | 大 | 介護技術講習 |
| | 23 | 土 | 短 | 保育学科リカレントセミナー |
| | 27 | 水 | | グループウェアソフト打合せ |
| | | 大 | | 介護技術講習 |
| | 28 | 木 | 大 | 介護技術講習 |
| | 30 | 土 | 大 | AO面談（第2回）、AO面接（第1回）、入試・募集委員会部会、教授会、大学評価委員会 |



保育学科リカレントセミナー [8/23(土)]

| 月 | 日 | 曜 | 区 | 行 事 |
|---|----|---|---|-------------------------------|
| 9 | 1 | 月 | 大 | 介護福祉実習【介3】（～9/27） |
| | 3 | 水 | 大 | 介護技術講習 |
| | 4 | 木 | 大 | 介護技術講習 |
| | 9 | 火 | 大 | 大学評価委員会、介護技術講習 |
| | 10 | 水 | 大 | 介護技術講習 |
| | 12 | 金 | 大 | 教務委員会、大学評価委員会 |
| | 13 | 土 | 短 | AO面談（第2回） |
| | 16 | 火 | | 予算編成ヒヤリング |
| | | 短 | | 入試・募集委員会部会 |
| | 18 | 木 | | 日本カトリック短期大学連盟理事長・学長研修会（～9/19） |
| | | 大 | | 就職委員会 |
| | 21 | 日 | | オープンキャンパス（第3回） |
| | 22 | 月 | | 事務職員研修 |
| | 24 | 水 | | 前学期終了、奨学生選考委員会 |
| | | 短 | | 愛媛県私立短期大学協会実務者会議 |
| | 25 | 木 | | 後学期開始、履修ガイダンス、人間文化研究所所員会 |
| | | 短 | | 教授会、聖カタリナ学園奨学生面接指導 |
| | 26 | 金 | | 後学期授業開始 |
| | | 大 | | 教授会、大学評価委員会 |
| | | 短 | | 保育学科会議 |

◆◇ クリスマス・イルミネーション ◇◆

恒例のクリスマス・イルミネーションを、以下の日程で点灯しています。どなたでも自由に見学できますので、お気軽に立ち寄りください。

期 間：12月1日（月）～25日（木）

（土・日・祝日も点灯）

場 所：聖カタリナホール前

時 間：午後4時～午後9時





◆◇ 任期満了に伴う次期学長選考で、 ホビノ・サンミゲル学長が再任 ◇◆

学校法人聖カタリナ学園は、11月29日開催の理事会において、任期満了に伴う聖カタリナ大学および聖カタリナ大学短期大学部の次期学長の選考を行い、ホビノ・サンミゲル現学長の再任を決定いたしました。

任期は2009年4月1日から4年間です。

◆◇ 人 事 ◇◆

《平成20年6月24日付け》

【新規採用】

学生支援課

スクールソーシャルワーク担当(非) 大場 裕子

《平成20年9月30日付け》

【退職】

社会福祉学部

助 手

久万 祐子

事務局長

中本 賀崇

(10/1付けで法人事務局長に採用)

会計課

労務職員(非)

谷川 庄紀

《平成20年10月1日付け》

【昇任】

事務局長

稻葉 益久

【新規採用】

会計課

事務職員(非)

矢野 悠子

《平成20年10月31日付け》

【退職】

会計課

事務職員(非)

吉田 直子

◆◇ 平成20年度教授会議題 ◇◆

【聖カタリナ大学教授会議題】

H20.4.1 第1回

1. 平成21年度聖カタリナ大学入試概要について
2. 退学について
3. 休学について
4. 除籍について
5. 聴講生の受け入れについて

H20.5.9 第2回

1. 退学について
2. 休学について
3. 復籍について

H20.6.13 第3回

※審議事項なし

H20.7.11 第4回

※審議事項なし

H20.8.5 第5回

1. 編入学国際提携校推薦入試要項について
2. 退学について
3. 前学期末卒業予定者の卒業の認定方法について

H20.8.30 第6回

1. 平成21年度AO入試（第1回）合格者選考について
2. 前学期末卒業の認定について

H20.9.26 第7回

1. 休学について
2. 退学について
3. 除籍について

4. 長期履修学生について

5. 聴講生の受け入れについて

6. 学長候補者推薦会議構成員の選出について

【聖カタリナ大学短期大学部教授会議題】

H20.4.1 第1回

1. 退学について
2. 除籍について
3. 科目等履修生の受け入れについて

H20.4.11 第2回

1. 聖カタリナ大学短期大学部健康栄養学科の募集停止について

H20.5.2 第3回

1. 平成21年度聖カタリナ大学短期大学部入試概要について
2. 退学について

3. 復籍について

H20.6.6 第4回

※審議事項なし

H20.7.4 第5回

※審議事項なし

H20.8.6 第6回

※審議事項なし

H20.9.25 第7回

1. 退学について

2. 科目等履修生の受け入れについて

3. 学長候補者推薦会議構成員の選出について

◆◇ 平成20年度サークル活動状況 ◇◆

(平成20年12月4日現在)

| サークル名 | 期 間 | 大 会 名 等 | 開 催 場 所 | 参 加 人 数 | 結 果 |
|--------------------------|-------------|---|-----------------------------|---------|-----------------------------------|
| バドミントン部 | 7/4~7/5 | 第59回四国地区大学総合体育大会 | 高知県立春野総合運動公園 体育館 | 4 | |
| 女子バスケット ボール部 | 5/10~5/11 | 四国学生バスケットボール新人大会 | 徳島文理大学 | 10 | 3位 |
| | 5/25~5/29 | 第57回西日本学生バスケットボール選手権大会 | 大阪市中央体育館 大阪府立体育会館 | 9 | |
| | 6/28~6/29 | 第57回四国地区大学総合体育大会 | 高知大学北体育館 高知工科大学体育館 | 10 | 3位 |
| | 7/4~7/6 | 第25回日本女子学生選抜バスケットボール大会 | 仙台市体育館 青葉区体育館 | 2 | 四国選抜: 鈴木 美奈代 石川 万里加 |
| | 10/11~10/12 | 全日本学生バスケットボール選手権大会 四国予選 | 松山大学第1体育館 御幸キャンパスメインアリーナ | 9 | |
| 男子バスケット ボール部 (同好会) | 5/10~5/11 | 四国学生バスケットボール新人大会 | 徳島文理大学 | 7 | |
| | 5/25~5/27 | 第58回西日本学生バスケットボール選手権大会 | 大阪市中央体育館 大阪府立体育会館 | 7 | |
| | 6/28~6/29 | 第59回四国地区大学総合体育大会 | 高知大学北体育館 高知工科大学体育館 | 7 | |
| バレーボール部 | 7/5~7/6 | 第59回四国地区大学総合体育大会 | 高知県民体育館 | 12 | |
| 剣道部 | 5/18 | 第55回中四国学生剣道選手権大会 第40回中四国女子学生剣道選手権大会 | 伊予市民体育館 | 12 | 奥田 美香・ 小窪 瞳ベスト8 |
| | 5/24~5/25 | 第53回西日本学生剣道大会 第23回西日本女子学生剣道大会 | 福岡市民体育館 | 14 | |
| | 5/31 | 第23回香川近県学生剣道定期大会 | 香川大学教育学部第1体育館 | 14 | 団体:Aチーム優勝 |
| | 6/22 | 第20回愛媛県女子剣道選手権大会 | 愛媛県武道館 | 12 | 荒木さやか ベスト4 |
| | 7/5~7/6 | 第42回全日本女子学生剣道選手権大会 第2回全日本女子学生剣道東西対抗試合 | 大阪府立体育会館 | 2 | |
| | 7/6 | 第59回四国地区大学総合体育大会 | 高知県立武道館 | 6 | 団体:優勝 |
| | 8/19~8/22 | 夏期剣道合同合宿 | 鳥取県立武道館 | 14 | |
| | 8/31 | 第35回中四国女子学生剣道優勝大会 | 岡山市総合文化体育館 | 7 | |
| | 11/2 | 第44回全日本基督教関係大学剣道大会 | 関東学院大学金沢八景キャンパス 総合体育館 | 13 | |
| | 11/9 | 第27回全日本女子学生剣道優勝大会 | 愛知県武道館 | 7 | |
| ダンス部 | 11/22 | 第28回表現及びダンス等の創作作品発表会 | 玉川総合公園多目的体育館 | 6 | |
| 空手道部 | 7/4 | 第59回四国地区大学総合体育大会 | 高知大学北体育館 | 1 | 個人形演武: 島崎 和典 優勝 |
| なぎなた部 | 7/6 | 第63回国民体育大会なぎなた競技 愛媛県予選会 | 三浦工業株式会社 体育館 | 1 | |
| | 7/13 | 第43回愛媛県なぎなた選手権大会 | 愛媛県武道館 | 2 | |
| | 8/9~8/10 | 第47回全日本学生なぎなた選手権大会 | 下関市立大学 健康スポーツセンター | 2 | |
| | 11/16 | 第33回西日本学生なぎなた選手権大会 | 奈良市西部生涯スポーツセンター | 2 | |
| 水泳部 | 6/28~6/29 | 第59回四国地区大学総合体育大会 | 高知市東部総合運動場 くろしおアリーナ | 2 | 個人:盛重 貴大 決勝戦進出 |
| 陸上部 | 7/5~7/6 | 第59回四国地区大学総合体育大会 | 高知県立春野総合運動公園 陸上競技場 | 4 | |
| 卓球同好会 | 5/16~5/17 | 第42回春季リーグ四国学生卓球選手権大会 | 松山市総合コミュニティーセンター | 6 | シングルス: 野田 佳宏ベスト16・ 布 彩佳ベスト4 |
| | 7/4~7/5 | 第59回四国地区大学総合体育大会 | 高知市総合運動場体育館 | 6 | 団体男子: 2部リーグ 準優勝 |
| | 7/5~7/6 | 第39回 四国学生卓球新人戦 | 高知市総合運動場体育館 | 6 | |
| | 8/27~8/28 | 第42回秋季リーグ四国学生卓球選手権大会 | 徳島市立体育館 | 7 | |
| | 10/9~10/10 | 第75回全日本学生卓球選手権大会 | 東京武道館 | 1 | |
| フットサル部 (同好会) | 11/22~11/24 | 第43回四国学生卓球選手権大会 | 香川県立体育館 | 7 | |
| | 7/5~7/6 | 第59回四国地区大学総合体育大会 | 高知女子大学 | 12 | |
| フィギュアスケート 愛好会 | 8/14~8/17 | 学生強化合宿 | 岡山国際スケートリンク | 1 | |
| | 8/20~8/22 | 岡山大学との集中合宿 | 岡山国際スケートリンク | 1 | |
| | 9/17~9/18 | 愛媛学連 フィギュアスケート部 夏季合同合宿 | 大阪府立臨海スポーツセンター | 1 | |
| | 10/3~10/5 | 08' 中四国・九州フィギュアスケート選手権大会 | 宍道湖公園「湖遊館」 | 1 | 個人:総合4位 |
| | 10/24~10/26 | 第81回日本学生氷上競技選手権大会 選考競技大会、兼 第2回西日本学生フィギュアスケート選手権大会 | 大阪府立臨海スポーツセンター | 1 | 個人:9位 本戦出場獲得 |
| | 11/1~11/3 | 第34回西日本フィギュアスケート選手権大会 第25回西日本フィギュアスケートジュニア選手権大会 | 大阪プール スケートリンク | 1 | |
| | 5/25 | 第3回愛媛県障害者スポーツ大会ボランティア | 愛媛県総合運動公園 | 5 | |
| MEG (MerryEventGreat) | 7/16 | ボランティア | 日野学園 | 7 | |
| | 8/4~8/5 | 交流会 | 野外活動センター | 12 | |
| 演劇部 | 8/15 | 「心に響く平和の鐘を鳴らそう」出演 | 聖カタリナ大学内 北条修道院聖堂 | 8 | |

◆◇ 研究室探訪 ◇◆

聖カタリナ大学短期大学部
保育学科教授 矢野 加代



「聖カタリナ女子短期大学児童教育学科」にご縁を頂いてからはや35年が過ぎようとしています。その間に、学科名が「幼児教育学科」に変わり「短期大学部保育学科」に変わり、男女共学となりました。

面接の時に、上妻初代理事長から「短大は、2年間で社会に出さないといけないのですから、教育をしっかりして下さい」と言われたことが私の中に染みついています。

上司にも恵まれました。1年目、クラスの半分位の学生に「不可」を出した私に、「音楽科ではないのです。保育者として育てるために、みんなに解つてもらえる授業をして下さい。補講をして全員に単位を出して下さい」と考え方を直伝して下さった上司。でも、その教授の仰有ることが素直に納得できたのは、「学生のことをよく見るんだよ」との教えたという事がストレートに伝わってきたからです。

それから、毎年毎年、研修会に出かけました。自閉症関係・施設養護関係・保育音楽関係等々。チンパンカンパンの分野もありました。「何で音楽の先生が参加してるの?」と言われたこともあります。でも、先輩教授方はそんな私を可愛がって下さいました。ある教授は、「学生を引率して、自閉症児キャンプのお手伝いに大三島に行きなさい。それまでにこんな本があるから読んでみなさい」と言って何冊かの本を下さいました。またある教授からは「あなたがボランティアサークルの跡継ぎだよ」と、ぽんとVYS部の顧問を任せられました。



学生たちと一緒に。私のとても幸せな時間です。

音楽、それも一番努力をしないで単位の取れた「声楽」を選んで、楽をすることばかり上手だった私にとって、保育者養成という学科での教員としての勤めはカルチャーショックの連続でした。保育の現場も知らず、養護ということもよく知らない暗中模索の状態で、毎日毎日が驚きや発見の連続で、全力投球の35年でした。

今、男女共学になって、男性保育者をどう現場に出していくかということに悩んでいます。私自身もそうですが、男子は母親という異性が育てるため、かなり過保護に育っています。お膳立てをして「さあどうぞ!」と誘わないと動けないところがあります。悪気はないのですが、気が利かないのです。

短大はわずか2年間。この期間で社会に出さなくてはいけません。挨拶や敬語、服装のTPOなど、家庭で当然しつけて貰っているであろうことが出来ていないことが多くなってきました。これは男女を問わずです。

保育の現場で、卒業生達によく言われます。「加代先生!歳取られて学生に甘くなつてませんか!もっと厳しくしつけておいて下さいよ!」と。・・・・難しい課題です。

保育の現場に卒業生が沢山いることが私の支えです。研究室を訪ねて来る卒業生達が何よりの宝です。そんな宝をもっともっと沢山送り出していきたいと思っております。

聖カタリナ大学・短期大学部学報

〒799-2496 松山市北条660

TEL. 089-993-0702(代)

<http://www.catherine.ac.jp>

編集・発行

聖カタリナ大学

聖カタリナ大学短期大学部

広報委員会

kouhou@catherine.ac.jp